The background features a series of concentric, curved lines in various shades of green, creating a sense of depth and movement. The lines are most prominent on the left side and curve towards the right, eventually fading into a solid green area at the bottom left corner.

YEAR BOOK 2013/2014

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

2013.4 ▶▶ 2014.3



クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会長
小宮山 宏

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム副会長
松島 克守

小宮山 宏

松島 克守

Message

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムは、日本が抱える多種多様な課題に正面から向き合いながら、人々が創造性を発揮できる「舞台」としての都市＝クリエイティブ・シティを整えようと、2010年に設立されました。持続可能な新しい社会システムの構築や、新しい技術の社会への実装のために、クリエイティブ・クラスといわれる多様な人々が集まり「Good Life/良き生活」「Diversity/多様性」「Opportunity/機会」という3つの柱を掲げ、その実現のために活動をしています。

2013年度を終えて、コンソーシアムは設立から4年を経過しました。この間に多くのワーキンググループやプロジェクトが立ち上げられ、その活動の中で様々な課題について考え、課題解決のアイデアを出し、実証実験を実施してきました。またイベントやワークショップの開催を通じて、地域住民や学術機関など多様な立場の方々とともに成果を共有しながら、積極的な意見交換も行っています。

こうした活動を通じて見えてきたのは、参加している多くの企業や人々が、現代の日本社会における課題をそれぞれの視点から明確に認識しており、そうした課題を企業や個人の枠を越えた協働を通じて解決したいという、強い意欲をもっているということです。鋭敏な時代感覚をもち、貪欲な知的挑戦を続ける多様な「才能」が、二子玉川という「舞台」で交流し互いに刺激を与え合うことで、課題解決に向けた「ストーリー」を描いていく。それはクリエイティブ・シティ実現のための大きな原動力といえるわけですが、そのための有効なプラットフォームがコンソーシアムであり、前向きに活動を続ける企業や人々をサポートするのが使命だと考えています。

2013年度は、地域とより密接な関係を築きながら、街へとその活動の範囲を広げることができた一年でした。これからの新しい都市の先進事例として、世界に誇れる社会システムやワーク/ライフスタイルを実現するために、街の現場の中で実証実験を繰り返しながら、発信する機会をもっと増えていくことになるでしょう。

二子玉川の街はまだ大きく成長していく過程にあり、2015年に迎える再開発事業のグランドオープンに向けて、コンソーシアムの活動もより活発になっていきます。コンソーシアム活動の開始から5年の節目を迎える2014年度は、ワーキンググループを中心として、これまでの成果を取りまとめるとともに、引き続き会員による様々な取り組みやイベントの開催など、情報発信を含め積極的な活動を行っていきます。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムは、社会の課題の複雑化や人々の営みの変遷とともに、常に変化し進化していきます。その活動を持続的に意義あるものとするには、多くの企業や人々の参画が必要不可欠となります。これからもたくさんの方々との協力関係の中で多様性をもちながら、実践的な活動を展開していく所存です。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会長

小宮山 宏

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム副会長

松島 克守

Overview

コンソーシアムでは、新しいワーキンググループ(WG)とプロジェクト(PJT)の立ち上げ、プレスポ、プラチナエッグ・ハンティングといった未来を見据えたコンセプトに基づくイベントのシリーズ化など、多様な分野へと活動を広げ、それぞれの活動が発展、進化しています。2013年度もこれまでの成果を活かしながら、地域との人材交流や情報発信などが頻繁に行われました。

Working Group Event

2013.4 ▶▶ 2014.3

※ Events & Activitiesで詳細紹介(P8~9)

コンソーシアム会員数(2014年3月末現在)

法人会員	79社
学会会員	21名
研究会員	2名
個人会員	8名
後援会員	22団体

コンソーシアム活動の拠点となる「カタリストBA」は開業して3年を迎えました。コラボレーションオフィス「co-lab二子玉川」で活躍するクリエイターとともに、オープンインベーションを体現する新たなスタイルでの情報発信・価値創造拠点として、認知と評価を高めています。

子ども記者取材ワークショップ「ミキキテ #3」(二子玉川商店街) **キッズWG**

バター・ランゲージオープンセミナー **スマートライフWG**

タニタの社員食堂健康セミナー **スマートライフWG**

第12回企画幹事会

XD Exhibition 2014 (協賛)

第2回 二子玉川 Wikipediaタウン&Open Street Mapマッピング

第11回企画幹事会

クリエイティブ・シティ・フォーラム2014 **スマートライフWG**

女性のための筋トレ講座 **スマートライフWG**

子どもみらいデザインフォーラム「人権って何?」(協賛)

Tokyo Work Design Week SETAGAYA(協力)

未来オフィスデザインするプロジェクト **フューチャーワークWG**

子ども記者取材ワークショップ「ミキキテ #2」(二子玉川公園) **キッズWG**

デジタルシティWG勉強会 **デジタルシティWG**

第10回企画幹事会

タニタの社員食堂健康セミナー **スマートライフWG**

子ども記者取材ワークショップ「ミキキテ #1」(玉川ボランティアビュロー) **キッズWG**

第9回企画幹事会

第2回プレスポ **スマートライフWG**

第8回幹事会

2013 MIXTURE PEOPLE DESIGN FESでのセグウェイ試乗会 **スマートモビリティWG**

Newライフスタイルクリエーション研究会(勉強会)

東北大学大学院 古川准教授講演会・ワークショップ **モバイルワレットWG**

二子玉川マダムの感性測定会 **Futako Emotion Ranking PJT**

第4回プラチナエッグ・ハンティング・セミナー **スマートライフWG**

第7回企画委員会

±U実証実験スタート **スマートライフWG**

二子玉川商店街青空アート&マートでのタッチラリー企画実施 **タッチラリーWG**

街なかワークショップ企画「街でツクル」二子玉川商店街青空アート&マートと連携 **キッズWG**

Newライフスタイルクリエーション研究会(勉強会)

第7回幹事会

第3回プラチナエッグ・ハンティング・セミナー **スマートライフWG**

空き缶衛星から始まるイノベーション高校生・大学生による衛星開発コンテストと宇宙サービス創造ワークショップ **位置情報マイピスWG**

第6回企画委員会

第2回プラチナエッグ・ハンティング・セミナー **スマートライフWG**

二子玉川ライズ・C・ファミリーデーへの参加 **キッズWG**

クリエイティブ・シティ・フォーラム2014実行委員会組成

第6回幹事会

モバイルワレットWGの会員説明会 **モバイルワレットWG**

コヤマトライビングスクール二子玉川バルフェスティバルでのセグウェイ試乗会 **スマートモビリティWG**

健康ポータルサービス「E.U」の実証実験開始をプレスリリース **スマートライフWG**

第1回プラチナエッグ・ハンティング・セミナー **スマートライフWG**

第5回企画委員会

しあさってプロジェクトWEBサイトを開設 **キッズWG**

Futako Emotion Ranking PJTの会員説明会 **Futako Emotion Ranking PJT**

未来のワークスタイルリビングラボ実験について慶應義塾大学メディアデザイン研究科との共同研究の検討開始 **フューチャーワークWG**

第5回幹事会

二子玉川ライズ・C・ファミリーデーへの参加 **キッズWG**

第2回しあさって委員会 **キッズWG**

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会員交流会・花火大会 **スマートライフWG**

「Linked Open Data(LOD)による「LODチャレンジ2013」にコンソーシアムがサポーター(後援団体登録)

第4回幹事会

カタリストキッズワークショップ(協力)

街なかワークショップ企画「街でツクル」二子玉川ライズ・C・ファミリーデーと連携 **キッズWG**

第4回企画委員会

第3回幹事会

第1回プレスポ **スマートライフWG**

「二子玉川をウィキペディア・タウンにしよう」ワークショップ

第3回企画委員会

健康講話 **スマートライフWG**

イヤーブック2012を会員に配布

第4回総会・セミナー・懇親会

第2回幹事会

第1回しあさって委員会 **キッズWG**

第2回企画委員会

地域連携キッズイベント「子どものまち」の実施 **キッズWG**

二子玉川商店街青空アート&マートでのセグウェイ活用実験 **スマートモビリティWG**

二子玉川商店街青空アート&マートでのタッチラリー企画実施 **タッチラリーWG**

「二子玉川しあさってプロジェクト」の始動をプレスリリース **キッズWG**

WG活動費の申請開始

第1回幹事会

第1回企画委員会

QUOMO WORKSHOP **スマートモビリティWG**

プレスポ

BRAIN SPORTS FOR BUSINESS INNOVATION



第1回プレスポ「書を持って、街へ出よう」



しあさってプロジェクト



QUOMO WORKSHOP主催「街×モビリティスローモビリティによる街づくりとは?」



プラチナエッグ・ハンティング・セミナー



参加者は「プラチナエッグ・ハンター」と認定されライセンスが授与された。



クリエイティブ・シティ・フォーラム2014



XD Exhibition 2014

Working Groups & Projects

2013年度は10のワーキンググループ(WG)とプロジェクト(PJT)が活発な活動を展開しました。これまでの実績を踏まえながら、より実践的に、かつより深く地域に根ざすかたちで、様々な実証実験やイベント、ワークショップなどを実施しました。また、新たに立ち上げたWG/PJTも地域の実態に即した課題と目標をもって、未来の価値創造への取り組みを始めました。

2014年度に向けて

2014年度は、コンソーシアム設立5年目の節目となるため、それぞれのWG/PJT活動の集大成として、成果を取りまとめていく予定です。また、新たに「デジタルシティWG」「ソーシャル・シェアリングWG」などが活動を予定しているほか、キッズWG やスマートモビリティWG なども地域活動との連携をより深めながら、二子玉川におけるイノベーションの実践に挑戦していくことが計画されています。



🔧 子育てを通じた地域コミュニティの活性化 (キッズWG 二子玉川 しあさってプロジェクト)

子どもとの関わりを通じた地域コミュニティのさらなる活性化や多様性の追求、クリエイティブ・シティ推進の担い手となる人材の育成など「地域ぐるみの子ども教育力向上」を目的に活動しています。2013年5月・9月・11月には「子どもと街」をテーマに、様々なプレーヤーが集まり勉強会(しあさって委員会)を実施。2013年12月・2014年1月・3月には、子どもたちが記者となり街の様々な場所を取材し「しあさって新聞」として新たな街の魅力を発信する取材ワークショップ(ミテキイテ)を開催しました。

<http://shiasatte.creative-city.jp>



🔧 健康データの計測管理と健康活動の支援 (スマートライフWG)

スマートライフWGでは、健康に関する情報やサービスを融合し、生活者の「Good Life」(良き生活)を支援することを目的とした新しいサービスの構築を2012年度より開始し、2013年11月1日から2014年3月31日にかけては、モニター公募型での実証実験サービス「±U(プラスマイナスユー)」を実施。モニターは、自身の体重や体脂肪率などのライフログを±Uで計測管理するほか、エクササイズイベントをモニター自身で主催、運営、参加できる仕組みの運用も行いました。



🔧 新しい移動体験で人とのつながりと街を再発見 (スマートモビリティWG QUOMO)

地域モビリティ検討コミュニティ「QUOMO」(クオモ)を設立後、パーソナルモビリティの社会実装を生活者目線で検討しています。2013年度は、4月に開催した街×モビリティを考えるセッション「QUOMO WORKSHOP」を皮切りに、地域イベント「二子玉川商店街青空アート&マート」での活用や、NPO法人ピープルデザイン研究所主催「2013 MIXTURE! PEOPLE DESIGN FES」への参加など、パーソナルモビリティ体験の場を広げながら、二子玉川での規制緩和によるサービス実現の可能性を探る活動を続けています。

<http://quomo.jp/>



🔧 新しい技術で地域活性化の実証実験を開始 (Futako Emotion Ranking PJT)

情動反応と感情反応の融合した新しい感情測定技術により、消費者などの感性をリサーチすることで、サービス開発や商品開発にフィードバックするスキームを構築するプロジェクトとして発足しました。言語化しにくい視覚、味覚、嗅覚などを解析、客観的指標として地域特性を顕在化し、それを地域活性へと効果的に結びつけていきます。2013年度に実施したリサーチでは二子玉川における顧客特性(フタコマダム)を対象として、地元で製造されたお菓子のパッケージ(視覚)および味覚に関する解析が行われ、実際の商品へとフィードバックされました。

その他のワーキンググループ(WG)とプロジェクト(PJT)

🔧 フューチャーワークWG

次世代の働き方、ワークスペースやツールの研究と実証を行っています。オフィス空間でのナレッジシェアと知識創造を進める仕組みとして、メディア・ファニチャーやインターフェイスの研究を行い、カタリストBAで実際にプロトタイピングをしながら、未来のオフィスにおけるプロダクトやサービスを考えています。

🔧 位置情報サービスWG

多様な人が集うクリエイティブ・シティにおいて、人やモノの位置に合わせて適切な情報やサービスを提供すること、またそうした位置情報の履歴を適切に収集して街づくりに活かすことが良い生活を提供する機会になると考えています。それらを実現するために、テクノロジーとソーシャルの観点で活動しています。

🔧 タッチコミュニティWG

多くの人々が共通して所持している交通系のICカードなど、FeliCa技術を利用し、そこに含まれる識別情報と連動することで、新しいコンテンツ発信とコミュニティの創出を行ってきました。ネット空間では体験できない「ありがとう!」「面白い!」「ラッキー!」などの共感を、街全体で共有できる新しい仕組みです。

🔧 次世代環境WG

クリエイティブ・シティでありエッジ・シティでもある二子玉川には、多摩川や国分寺崖線の豊かな自然環境があります。環境に優しい都市の研究を行いながら、二子玉川の再開発エリアと公園や河川にある自然資産価値が次世代まで持続可能なものとなるよう、環境都市のモデルとしての具現化を進めています。

🔧 モバイルフレットWG

2020年の社会環境を踏まえた最新のライフスタイルのあり方をモバイルフレットの利便性ととも実現することを目指しています。クリエイティブ・シティ二子玉川ならではのライフスタイルをバックキャスト手法により導出して、エリア価値の向上へとつなげるモデルを探索していきます。

🔧 J-Creators PJT

クリエイターを集めて良質な仕事やプロジェクトとのマッチングを行う仕組みを構築することにより、クリエイターを支援・育成するとともに、企業をはじめクリエイティブを必要とする発注者側の選択肢とニーズを担保します。こうした仕組みが街づくりと結びつくことで、クリエイティブ・シティを推進していきます。

Events & Activities

2013年度もコンソーシアム主催イベントとして、総会、会員交流会、プラチナエッグ・ハンティング、ブレスポなど、多彩なイベントが行われました。2月には、一昨年度までアリーナホールで開催していた「クリエイティブ・シティ・フォーラム」をカタリストBAで初めて開催し、多くの方々に参加していただくことができました。また、二子玉川の地域関係者との連携を深め、街に開かれたイベントも数多く実施されました。



クリエイティブ・シティ・フォーラム2014

Good Lifeを実現するクリエイティブ・シティ二子玉川

コンソーシアムが掲げるグランドデザインの3つの柱の1つであるGood Life(良き生活)について、ゲストトークに耳を傾け、参加者と一緒に考えるイベントを開催しました。同時に1Fロビーにおいて、コンソーシアム会員企業が取り組む各ワーキング活動についてのパネル展示やデモンストレーション、体験展示も行いました。当日は大雪にもかかわらず保坂世田谷区長をはじめ、延べ100名以上の方々にご来場いただき、大変な盛況でした。

総合司会/開会宣言: 福満景子氏(元NHKキャスター、フリーアナウンサー)
 オープニングトーク: 「二子玉川に創る、クリエイティブ・シティ」松島副会長
 トーク1「幸福途上国ニッポン?」目崎雅昭氏(国際文化アナリスト、幸福研究者)
 トーク2「世田谷から実践する里山資本主義」東大史氏(一般社団法人上山集楽監事)
 トーク3「鯖がつなく食のコミュニケーション」小林崇亮氏(全日本さば連合会会長(サバニスト))、池田陽子氏(全日本さば連合会外交担当(サバジェンヌ))
 トーク4「GOOD LIFE ~代官山T-SITEの先にあるもの~」増田宗昭氏(カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)代表取締役社長兼CEO)



2014
2/15



クリエイティブ・シティ・コンソーシアム 会員交流会

多摩川の花火を楽しみながら未来を語り合う

多摩川の花火大会にあわせて、カタリストBAで会員交流会を開催しました。小宮山会長による基調講演「日本『再創造』—プラチナ社会実現のためのイノベーション—」では、様々な課題を先進的に解決してきた日本のこれまでの経緯を踏まえ、プラチナ社会を実現する「美しい生態系」「エネルギーの自給」「2050年における資源自給国家」「健康寿命の延伸」「良い住宅・森林再生の好循環」「予防医療」「支援と自立」「健康システムと新産業の創生」について、二子玉川で今後どのようなことをすべきかを多角的視点で語っていただきました。懇親会には会員のご家族も参加され、花火大会を楽しみながら交流を深めました。



2013
8/17



ブレスポ

新しいビジネスのためのアイデアセッション

2013
7/27,12/1

コンソーシアム設立から会員内外の交流と創発をテーマに開催してきた「オープンラボ」をリニューアルして、新企画BRAIN SPORTS「ブレスポ」としてスタートしました。

各界のトップランナーをゲストにお招きし講演していただくほか、各企業のサービス・デモ展示や、参加者有志のフラッシュトーク、ビジネスアイデアワークショップなどを行っています。2013年度は、1回目を「電子書籍」、2回目を「スポーツ」というテーマで、真剣かつ楽しいビジネスセッションを繰り広げました。

第1回「書を持って、街へ出よう ~電子書籍の広がり」

ゲスト: 池田敬二氏(電子出版制作・流通協議会)、加藤嘉則氏(株式会社トゥ・ディファクト代表取締役社長)

第2回「スポーツ・文化・豊かな暮らしを目指して」

ゲスト: 平田竹男氏(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 教授)、辻秀一氏(スポーツドクター/東京エクセレンスGM)、松井一晃氏(スポーツ・グラフィック「Number」編集長)

2013
9/12,10/4,10/23,11/14

プラチナエッグ・ハンティング・セミナー

未来の商品・サービスにつながるシーズ・ニーズ・アイデア

「プラチナエッグ・ハンティング」とは、イースターに行う卵探しゲーム(エッグハンティング)になぞらえ、企業にのみメリットのある「金の卵」ではなく、企業・働く人・消費者・社会の全体にメリットのある「プラチナの卵」を探す活動です。今年度は、未来の商品・サービスにつながるシーズ・ニーズ・アイデア(プラチナエッグ)を見つけるためのスキルアップ特別講座「プラチナエッグ・ハンティング・セミナー」(全4回)を開講し、アイデアの発想法からプレゼンテーションまでを学びました。

ナビゲーター: 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科・神武直彦准教授
 第1回「クリエイティブの現場」

講師: 石黒猛氏(プロダクトデザイナー)

第2回「アイデアを発想する。デザイン思考での発想法」

講師: 前野隆司教授(慶應義塾大学デザイン・マネジメント研究科委員長)

第3回「アイデアを磨く。システム思考での創造法」

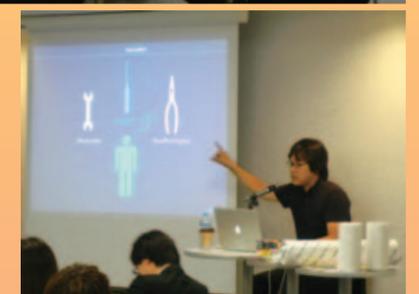
講師: 神武直彦准教授(慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科)、

田中陽明氏(春蔭プロジェクト株式会社代表取締役)、

齋藤敦子氏(コクヨ株式会社 RDIセンター主幹研究員)

第4回「アイデアを現実のものにする。ビジネスモデル・イノベーション」

講師: 小山龍介氏(株式会社ブルームコンセプト代表取締役)



パターン・ランゲージ オープンセミナー

ビジネス環境を向上させる実践的ワークショップ

2014
3/27

現在企業が抱える最大の課題は「閉塞感が漂う現状のビジネス環境をいかに打破するか」ということです。その最も有効な解決策の一つとして、パターン・ランゲージ3.0が注目されています。

パターン・ランゲージは、多様な人々とともに様々な事象を「状況」「問題」「解決」という理解しやすい単位に言語化することにより、「ナレッジ継承や顧客インサイトの把握」など、多くの企業が抱える課題に対して、解決や創造の兆しを得ることが可能です。

慶應義塾大学総合政策学部井庭崇准教授によるワークショップを通じて、パターン・ランゲージ3.0の企業実装について考えました。



2014年度に向けて

「プラチナエッグ・ハンティング」、「ブレスポ」といった新しいビジネス創造のためのセミナー/ワークショップを継続しながら、2015年に迎える二子玉川地区再開発事業のグランドオープンに向け、「働く街」としてのコンテンツの充実を目指します。また2014年12月6日には渋谷ヒカリエでの「クリエイティブ・シティ・サミット 2014」の開催を予定しており、二子玉川と世界をつなぎながら、多くの方を惹きつけていきます。

Member's Voice

コンソーシアムには、企業人や研究者、デザイナーといった様々な方々が参画しています。2013年度も活動の広がりとともに会員の顔ぶれもより多彩になってきました。そうした会員一人ひとりをもつアイデアと技術、そして情熱を傾けることで、コンソーシアムが推進する未来創造に向けたワーキンググループやイベント活動が支えられ、積極的に推進されています。

+インタビュー項目

- Q1. 所属ワーキング(あれば)
- Q2. どんな仕事をしていますか?(自社紹介・自分の仕事の紹介・自分のプロジェクトの紹介・PR)
- Q3. 2013年度のコンソーシアム活動で印象に残っている活動は?(WGの紹介、イベント参加の感想等)
- Q4. 2014年度にコンソーシアムでチャレンジしたいこと?
- Q5. その他、ひとことコメント



藤井 達也さん
株式会社リコー

Q1. フューチャーワークWG

Q2. OA機器(複合機など)を主力商品とするメーカーです。多様化するワークスタイルに役立つ新たな事業を創出するために、技術研究所でソリューション&サービスの開発を担当しており、イノベーションを起こして事業化に結びつけるプロセスを研究しています。

Q3. プラチナエッグ・ハンティング・セミナーへの参加は大変刺激的でした。アイデアの発想法からビジネスモデルの考え方まで、一連のプロセスについて著名な先生の講義を受け、また多様な職種・企業のメンバーによるワークショップでは斬新な発想に多く触れました。コンソーシアムは多くの“気付き”を得ることができる場だと思います。

Q4. フューチャーワークWGの活動により、多様化するワークスタイルに対応した未来オフィスを提案したい! また、新しいWGを立ち上げて、同じ志をもってチャレンジするメンバーとともに新たな事業を創出するプロセスを見出したいです。多くのチャレンジに向けてコンソーシアムの多様なメンバーと意見交換することが楽しみです。

Q5. 価値観が多様化する時代となり、多くの企業でライフスタイルを提案する力が求められています。また、一企業で新規ビジネスを創出することが難しい中で、異業種間のコラボレーションや、人と人との出会いからイノベーションが生み出される場「BA」としてコンソーシアムの活動を楽しみにしています。



磯村 歩さん
プロダクトデザイナー

Q1. スマートモビリティWG、Futako Emotion Ranking PJT

Q2. 地域のつながりづくりをテーマに、シェアハウスの企画設計、空き部屋を活用した住民の集う場づくり、世田谷区内の福祉作業所、パティシエやデザイナー等と地産地消のモノづくり、またパーソナルモビリティのデザインと企業、自治体、商店街向けの導入支援を行っています。

Q3. スマートモビリティWGにおいては、セグウェイの体験会やイベント活用を通じて「あいさつが生まれる」「街が華やぐ」「先進的な街になる」など、街づくりにつながる反応を得られたこと。パーソナルモビリティによる街づくりに向けて手触り感をもつことができました。また、Futako Emotion Ranking PJTにおいては、開発中の焼き菓子の味覚とパッケージデザインの感性判定を行いました。その結果を反映した限定販売品が非常に好評で、量産化することになりました。

Q4. 特にスマートモビリティWGにおいて、二子玉川での規制緩和によるサービス実験を具体化したい。それをパーソナルモビリティの社会実装の先進事例にしていきたいと思えます。

Q5. 二子玉川地区に暮らし働く者として、職住近接の新しいライフスタイルを創り出していきたい。カタリストBAは、それを実現できるプラットフォームだと思います。



大湯 慶子さん
大日本印刷株式会社

Q1. モバイルワレットWG

Q2. 大日本印刷の新事業・ビジネス開発を行う部門で、“生活者視点” “ソーシャル視点” に立って今後成長が見込まれる新しい事業を企画する仕事をしています。その中で私は“生活者同士のコミュニケーションを起点とした新しいビジネス”分野での、新規ビジネスの企画開発を行っています。

Q3. スマートフォン×モバイルワレットを活用することで二子玉川ライフが便利に! 楽しく! 変わる近い未来をWGの仲間と「生活者視点」で一緒に考えていく活動がとても勉強になりました。この活動を通して「地域×コミュニティ=将来の自分にとって身近な存在」という意識が芽生えたことが一番大きな出来事でした。

Q4. 2013年度の活動を通して私の中に芽生えた「地域×コミュニティ」に「ソーシャル」が加わり、住民・地域がより元気になるような仕組みづくりを二子玉川の地元の人たちと一緒に考えて実現したい。近い将来、「そのサービス、二子玉川らしいね!」っていわれるような何かを創りたいと思います。

Q5. 企業組織の中で育ってきた私にとって、コンソーシアムで出会う人たちは自分の夢や実現したい未来をもち、そこに向けて積極的に突き進んでいるとても魅力的な方々が多く、この出会いは貴重な体験でもあります。新しいことに向けて進むのは簡単なことではありませんが、コンソーシアムはそんな時に勇気と刺激と知恵をもらえる“場”として存在し続けてほしいです。



菊池 光一さん
株式会社夏目総合研究所

Q1. Futako Emotion Ranking PJT

Q2. 人の反応(非接触で無意識の情動反応と感情反応)を数値化する技術開発を行う研究所です。取得特許技術をベースに視覚・味覚・嗅覚などをFutako Emotion Ranking PJTで、二子玉川のマグムを被験者に反応を分析しています。「テキスト検索ではなく、感性検索が未来に必須である」と思っています。

Q3. 品格のあるマグムの反応分析は、ある種象徴的な意味での価値があると考えています。未開の分野のフィールドテストなので発見や驚きが多く、実に楽しいプロジェクトです。大学や企業の特異な研究機関とは異なり、自由な発想や失敗を恐れずチャレンジ(多くの日本の研究者の課題)ができるのが良いと思います。

Q4. これまで、視覚、味覚、嗅覚実験を行ってきましたが、2014年度はより楽しく面白い取り組みを考えており、新しいメンバーにも参加していただければと思っています。例えば、「マグムとのコミュニケーション実験」「マグムが好むランキング評価(日用品から耐久品まで)」等です。

Q5. 現在、弊社が技術協力している「Hyper Emotion Ranking 電子出版」(ナッツコンサルティング発売元)が業務用のリサーチ解析情報を販売しています。未知との遭遇情報が満載です(<http://www.hyperemotionranking.com/>)。今年は海外での講演などもあり、国内外で感性判定技術が広がるのを楽しみにしています。元気なシニア研究所チームが、純国産技術を世界に広げていきたいと思っています。

